

(2024年度 第01回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時： 2024年04月27日 13:00~15:20

場所：山王集会所

参加：23名 欠席：1名

【総務部挨拶】

今年度最初の役員会を開催したいと思います。本日役員定数 24 名に対し、23 名出席 1 名欠席と 4 分の 3 を上回っておりますので、今回は成立します。議事進行は会長にお願いしたいと思います。

1. 会長挨拶

皆さん本日はご苦労様です。今年度最初の役員会を開催したいと思います。
個人的には講義形式では議論が盛り上がりず、中会議室など顔を見ながらのほうが良いかと思う。皆さんの感想を聞きつつ総務部と調整して進めていきたい。

2. 会長講話

佐倉市の自治会世帯数は 52,175 世帯、加入率は 65.7%。我々のような自治会サービスは 254 団体存在している。山王地区は 1,426 世帯、3,240 人、自治会加入世帯数約 1,000 世帯、加入率 68%であり、減少傾向である。今後、自治会の在り方について議論をしていきたい。

自治会は戦後に再組織化され、各地で自主的に広がった。最近ではセキュリティや防災への関心が高まっているが、加入率は下がっている。自治会費の高さも指摘されるが、他の自治会の会費と比べれば安い方である。班長含め我々53名で活動をしていき、地域住民を把握し、必要な支援を提供してほしい。お互いが豊かになり楽しく過ごすことが大切である。

役員会と班長会の役割分担は班長の手引きを参照すること。活動方針については各部から説明していただく。予算に関しては、基本的には前執行部が組んだ内容で進める。予算はあくまでも目安ではあるが、活動の遂行には責任が伴う。活動の必要性など各部での議論が重要である。

会議をするにあたり、プロジェクターを活用し議論に集中してほしい。また、集会所の維持管理について今後の方針を議論していきたい。

敬愛短大の売却後は宅地となる。整地等で大型車の出入りが伴うため、業者から詳細が入り次第周知する。

各部門の説明に移る前に、規約には明確に記載されていない書記や幹事の役割についても説明する。書記は会議や議事録の作成など、書面での記録を担当する。幹事は財務業務の監査や活動の実行状況の監査を担当する役割をする。特に幹事には、活動の監査だけでなく、役員会や班長会での議題についても判断を行い、役員会や班長会で提起をしていただきたい。

3. 各部報告事項

【施設部】

《報告》

施設部の主な業務内容は治会の施設を管理運営、集会所を使用する団体に貸し出すためのチケット販売、コピー機の管理、集会場の清掃管理、清掃業務、備品管理である。

《提案》

- ・コピー機、印刷機のカードがだれでも使用できる状況なので管理の変更を検討したい。
- ・集会所の玄関をオートロックにする意見があり検討したい。
- ・施設部で使用する書類を紙ベースとし、だれでもできるようにしたい。

《依頼事項》

- ・コピー機、印刷機のカード管理を議論するために、3 か月に 1 度各部の実績を集計し報告する。
- ・集会所玄関をオートロック化するための費用検討。
- ・中会議室のエアコン追加、棚追加に関する検討。
- ・防火管理者乙種取得について。希望者は会長まで連絡すること。

【行事部】

《報告》

行事部の主な業務は夏祭りの開催である。夏祭りは毎年人が変わり体制も変わるので負荷がたかい。今年度は夏祭り実行委員会を立ち上げ、今までの経験者を交えて進めていく体制となった。

《提案》

- ・夏祭りは 7 月 27 日土曜日で確定。開始時間は気温が高いため遅らせたい。
 - ・夏祭り当日前後の段取りについて、臨時の班長会を開催し説明したい。
- 案として 7 月 6 日としている。

《依頼事項》

- ・夏祭りの概算見積書と予算書を次週までに作成。決議をとること。
- ・臨時の班長会については、総務部長と相談してすすめること。

【福祉部】

《報告》

福祉部の主な業務は、山王未来プロジェクト内の 0 円バザー開催、各種募金活動、生活支援情報の配布である。今年の 0 円バザーは 11 月 24 日に山王小学校で実施予定。昨年度の実績から出店希望者への情報展開の方法、人員配置の適正化、イベントの進行など改善を図りたい。

《提案》

- ・0 円バザーにて、趣味の絵画や手芸などを展示し地域交流を深めたい。

《依頼事項》

- ・ご家庭の事情もあるため、無理せずできる範囲で活動していただきたい。

【環境部】

《報告》

環境部の主な業務は、年 3 回の公園草刈りの開催、集会所周辺の除草作業である。

《提案》

- ・高齢化も進み作業が辛い。年 3 回の草刈りのやり方について議論したい。
- ・全戸一斉清掃時に集会所で冷たい飲み物を用意し、交流の場としたい。(会長)
- ・自治会で草刈りボランティアを募集する。(会長)

《依頼事項》

- ・公園内の草刈りは市役所扱いであるのか確認すること
- ・環境部で年 3 回の草刈りに関して方針を定め提案すること

【会計部】

《報告》

会計部の主な業務は、各種出納関係の確認である。自主防災の科目について、消防団への後援会費については任意である点、支払いは一律 40 万円であることを理解した。

《提案》

- ・班長負担軽減に向けて、清算手続きの見直しについて議論したい。
- ・賛助会員へ挨拶する際に同行し顔合わせをしたい。
- ・会費の徴収をオンラインでやりたい。議論を深めたい。(会長)

《依頼事項》

- ・賛助会員へ挨拶する際には同行すること。

【防災部】

《報告》

防災部の主な業務は、防災訓練の実施、防災委員との連携、各種防災に関係する事案への対応である。

《提案》

- ・今年度の防災訓練は、10 月後半で実施予定。
- ・防災のためのまち歩きに関して戸数が多く確認しきれない。
各班長の報告をもとに対処していきたい。

《依頼事項》

- ・防災委員との過去の経緯を確認すること。
- ・非常時を想定した防災訓練としてプログラムを考えること。
- ・要支援者がいる班へどのような支援体制がとれるのかシミュレーションすること。
- ・会長が班ごとの要支援者名簿を作成し班ごとに開示する。
班長は会員、非会員関係なく声がけすること。

【防犯部】

《報告》

防犯部の主な業務は、対外窓口として市役所、警察、山王小学校、山防会との連携がある。そのほか、パトロール表の作成および防犯カメラの管理を行う。なお今年度のパトロールは 3 回を予定している。

《提案》

- ・特になし

《依頼事項》

- ・防犯カメラ設置についてカメラがそろい次第チラシを作成する。最終的な構成は役員会で詰める。

【書記】

《報告》

書記の主な業務は、役員会、班長会の議事録作成と保管である。

《提案》

- ・議事録の内容方針について、議論したい。

《依頼事項》

- ・議事録の承認は廃止する。内容は会長が確認しコメントする。
- ・議事録に内容方針は議事録作成後にやり取りして決める。
- ・会長は議事録をもとに回覧資料を作成する。

【総務部】

《報告》

総務部の主な業務は、役員会、班長会、総会のスムーズな議事進行、および自治会活動に関する様々なサポート業務である。

《提案》

- ・山王自治会のあるべき姿を目指すため、ワーキンググループを発足させたい。
- ・自治会ホームページを活用して広報活動をしたい。興味ある方、経験者を募集したい。

《依頼事項》

- ・会費のオンライン徴収、施設のオンライン予約、ホームページリニューアルなど IT 関連のグループ発足について班長会で会長が提案を行うこと。

【その他質疑応答】

《提案》

- ・執行部が 1 年ごとに代わるため、課題がクリアにならない。
会長職の任期を数年にすることを提案したい。(総務部)
- ・規約の改定は総会のみでできる。1 年ごとの自治会であっても回せるようなシステムとしたい。
皆様から提案があれば、選択肢の一つとして議論していきたい(会長)

【次回開催予定】

役員会開催予定	5 月 18 日	13:00~15:00
班長会開催予定	5 月 18 日	15:30~16:30

4. 役員会議事詳細 (次月から省略予定。記録は音声のみとする)

・会長講話詳細

佐倉市の自治会世帯数は 52,175 世帯、加入率は 65.7%。我々のような自治会サービスは 254 団体存在している。山王地区は 1,426 世帯、3,240 人、自治会加入世帯数約 1,000 世帯、加入率 68%である。今後は減少していく傾向があり、今後 1 年皆さんと自治会のあり方について議論していきたい。

自治会の歴史は、戦時中に政府の下部組織として法的に制定されていたが、戦後 GHQ の命令により戦時体制が残っているため廃止となったが、1952 年にポツダム宣言が解除され再組織化された。戦後の混乱している中、政府、自治体の命令ではなく、共存共栄を図るべく各地で自主的に広がった。自治会を復活させなかったことで有名な自治体は武蔵野市である。その理由は、一つ目が自治会長を市の職員に担当させた点、都心のベッタウンの役割から人口急増に対応するため手が回らなかった点があげられる。ただし、1972 年に武蔵市はコミュニティ構想を打ち出し、市民活動を支援するシステムを作りだしている。

近年は、セキュリティや防災関連への活動へ関心が高まっている傾向があるが、自治会活動に参加することに対し、ネガティブな印象が持たれており加入率が下がってきている。自治会参加率が低い理由の一つとして自治会費が高いとの声もあるが、佐倉市のほかの自治会の会費が 7,000 円から 8,000 円、八街市では 10,000 円であり、その地場のつながり方や歴史的な背景があるため金額の差は発生するが、山王自治会の会費 6,500 円はまだ安い。

また、自治会に加入しなくても、日々の生活には不便もなく、班長の仕事もしなくてもごみは出せる。特に現役で働いている方は、平日は仕事で忙しく、土日に集まるにしても仕事があり、ままならい場合もある。これらは今更我々がここで議論しても解決できる話ではない。違った視点で今年一年、その自治会活動を皆さんと考えながらいろいろ試行錯誤して進めたい。

皆さんここに住んでいるわけですから楽しく過ごしたい。自治会で大切なことは、よく昔から言われている、向こう 3 軒両隣ではないが、近隣の人と話ができる関係ができているかどうかだと思う。だから班という 20 世帯単位でブロック構成されている。私からのお願いでもあるが、各班長には少なくとも自分の班には、どういう方々なのか、どのような感じの方々なのかを把握してほしい。要支援の方については、これから市役所に行き、私が名簿を作成して配布する。班長の皆さんは、なにかあったときにお手伝いしてほしい。このようなことがコミュニティのポイントとなり、そのような意識で自治会の活動を進めたい。コミュニティにはいろいろな定義あるかと思うが、お互いが豊かになり楽しくやろうというのがコミュニティだと思う。まずは地域の方とつながり顔見知りになり話ができる関係になる。

我々 53 名でこの 1 年活動を行っていくが、楽しいことをやりたい。いろいろな議論や意見があるかもしれない。結局、活動をやるという、実際に我々が何か行動を起こす、起こす結果としてコミュニティがよくなり、お互いの顔が見える関係がつけられ、そういう流れになっていくものだと思う。

私は今回で 5 回執行部を経験している。過去を振り返ると、自治会の活動は何となくアパートの管理人の仕事をやっているような感覚がある。それにプラスして、もう少し皆さんが楽しめる地域社会を目指したい。

具体的な活動の話をすすめる。班長の手引きというものがある。そこに役員会と班長会の役割の違いが記載されている。2023 年 4 月に各戸配布された、活動のルールに従って進めていくため、一度精読してほしい。もし所持していなければ在庫があるので総務部長に依頼すること。これは基本的な自治会規則以外に、施設の利用ルールや、防犯カメラの内容などが書いてある。この中に役員会と班長会はそれぞれ何をする会なのかが記載されている。

役員会は物事を執行し、班長会へ議決案を提出する。そのため各部からの提案をして頂く。あるいは何かの新しいプロジェクトをやるのであれば、その提案を役員会でして頂くなどである。班長会は役員会で提示された議案の議決を検討する。特に役員会は執行責任があり、改善内容を考え提案し、議論し、実際に実行する役割がある。もしプロジェクトをやらないのであれば、やらない理由の説明責任が伴う。班長会の方はそれを受けて、決めていただくという方になる。私は、ここで皆さんと議論して、大方の内容をつめていく形で進めていきたいと考えているため、役員会の時間は長くとっている。とにかく、これやります、これやりました、という報告だけではなく、こういうことをやりたいが、どうしたらいいだろうと、これをやりたいと一緒にやらないか、何かそういうことを議論したい。

あとは冒頭に話したように、自治会加入率を上げていくためには具体的に何をやればいいのか、そのような議論をここで皆さんとしていきながら進めていきたい。回覧資料は別として、こういう課題での配布資料はできるだけ少なくしたい。例えば過去、班長会でいっぱい資料をもらっていたが、読み返す機会は少ない。だからそこに時間を割いていただくより、今日各部長さんとこういう資料、後で皆さんと議論しますけれど送っていただいたように見ながらとにかく考えて話す、議論する、そういう方向で進めていきたい。

総会で承認された4号議案として予算案の提案がされている。その中のポイントを抜粋して説明する。予算書を見ると、既に予算の段階で40万円の赤字予算を前の執行部の方が組まれている。まずは基本的な自治会活動予算として、985世帯で4200円、合計414万円という予算が組まれている。まだ手続きが終わっていないが、佐倉市からの交付金、夏祭りに関連した催事の交付金、皆さんに回覧していただくことで得られる佐倉市から業務委託の交付金、それから会員以外の収入を入れると約540万弱ある。それから集会所維持管理積立金として、985世帯で1,800円、約178万円の積立金。自主防災関連費として消防団の後援会費500円を徴収している。以上、年間で6,500円を徴収し積立金もあるが約700万円の金額で我々がこの1年間活動をしていく流れになる。

先ほどの集会所維持管理積立金に関連している、集会所について話をしたい。この集会所は1985年12月に完成した。当時この山王地区を開発していた会社のショールームとしてこの建物があった。開発が終わった時点で、自治会の集会所という形で市の方から使用許可があり、現在そのまま使う形となっている。使用している集会所は、いずれ壊れ、朽ちる。そうすると建て替えや、改修をしていく等々が起こりうる。集会所をどうしていくのかという議論が2000年ぐらいから始まった。ここで一つ大事な点は2006年に佐倉市と無償貸借契約を結んでいる点がある。10年契約で自動更新であり、ここの土地建物は我々のものではない。市役所から我々は無償で借りて、家屋を維持管理していくとそういう流れになっている。いろんな議論があったが、実際具体的に実は動き出したのは2016年、17年。当時私は役員をしていてこの案件に関わっていた。この集会所の建物を建て替えるのか、改装かでいろんな議論が自治会であった。改築か改装する判断で、大事なのは耐震診断である。建物自体の診断を行い、多分50年問題なしとの診断結果により、改装することとした。実際の工事は2017年、18年から実際に工事を始めた。改装費は椅子、机などの備品含めて3000万。次は建屋の寿命がくるため改装できず建て替えとなる。建て替えつまり新築するとなると、当時の見積もりで6700万円だったが、現在の物価高でさらに費用が上がっている見込み。新築のタイミングは当時の執行部は私含めて多分2040年以降に建て替えると想定していた。改装時は2000年のときに議論を始めて18年に改装実施であった。20年後でもすぐに来る。早めに議論を開始したほうがよい。今度建て替えとなるとどういう建物にするか自由に設定できる。そういうことも含めて議論を始めていく必要があると思う。その上で、費用がないと建て替えられない。それから、一応改装として、屋根、壁、防音などほとんどやった。当然これから雨漏りや様々ところが傷んでくる。何か大きな災害があって、建屋が傾いたなどいろんなことが多

分起こりうる。そうしたときに、この集会所が建て替えられない、使えないような状態で置いておくわけにはいかない。当然そのためにしっかりこの自治会の中でお金をストックしておかないとそういったことができない。想像してほしい。建て替えしたいが、費用が3000万円しかなかった。でも6000万円費用がかかるので、3000万円を1000世帯で頭割りとなった場合、払うのか？ おそらくみんな自治会をやめてしまうのではないか。このようなことも想定できるため、コツコツとお金を貯めていく。この集会所が我々の活動の居場所として、使っていくものなのでそこはぜひ皆さんにお伝えしたい。

話を本予算に戻す。先週頂いた予算と23年度の支出のバランスをスライドで表示する。この指数の分母が 去年の支出、分子が予算としており1を超えると予算額が大きいと判断する。これを見ていただくと、防災部は去年3300円しか使っていないが、今期12万円の予算になっている。多分この予算を決めた方が今の防災部長ではないので、当然前年度の方々がある考えのもと12万円という予算をくんでいらっしやると思う。そのような中身のところは、しっかり確認し皆さんと議論しながら詰めていきたい。それから行事部は夏祭りの予算が大きい。ちゃんとした理由があるが、施設部は2023年度比で1.6倍に増加。福祉部は事業費だけの12万円。あと総務部は昨年度5.5万円の実績に対し今年度は15万の予算を計上している。

予算は自分たちが1年やって、こういうところに不備があるからここに力を入れたいからこの予算になる、今年1年、予算組んでやろうとしたが、いろんな事情で遂行できない、多分次年度は無理だ、そのため予算を計上しないなど活動の考え方を反映したものであるべきである。そういう意味で総務部を責めているわけではないが、自治会会員が減る可能性もあり、自治会としてこれだけの費用を払いたくない。それから手数料関係は、金額が小さいからいいが、コピー関係の数字が大きい。実態50万円ぐらいで実施できていたものが70万円になるっていうのは解せない。今期は会議の資料はできるだけ少なくし、議論に集中できるような形に持って行ってほしい。そのためプロジェクターを活用してほしいと個人的には思う。

これから皆さんはこの予算に従って各部で議論をして、いろんな活動をしていただく。皆さんに、予算の責任はないが、執行責任はある。予算があるから使うのではなく、予算は決められているが、その中で本当に使えるか、よく考えながら執行してもらいたい。予算にないことはできないとは言わない。予算にないが、やりたいことがあれば提案していただきたい。みんなで議論しみんなの総意で合意が得られたら、必要に応じて班長会で諮り決議を取って執行する。予算は一つの目安の枠である。先ほど説明したように入金が決まっているので、基本はその中で運営したい。赤字予算で前の執行部は組んでいる。しっかり限られた費用を赤字にならないよう、うまく運営していきたいと考えている。

前の会長から引き継いだ、消防団の後援会費を活動報告という形で決算書を引き継いだ。私は了承しているので、皆さんへの事後確認をしたい。もし反対があれば意思表示をお願いしたい。40万円を予定している。消防団の活動実績についてスライドで示す。おおよそ毎週活動しており、いろんな防災活動、野焼き対応、広報活動話をされている。

これに関連して、自治会から活動の助成金を出している団体がある。去年は4団体。これは基本的に15万円の助成金をだしている。1年ごとに、自治会からの助成金を要望される場合には班長会で助成金支給可決の決議をしてから支給する流れとなっている。

そのため、助成したことに対しての活動実績の説明、決算報告をしてもらう。次年度も必要ならば申請し我々自治会で合意する流れになっている。この辺の助成金の支払いに関しては、このような手順があるということ覚えておいてほしい。

隣にある敬愛短大が9月に売却される。売却エリアは運動場と体育館をのぞく部分となる。売却後は80棟ぐらいの宅地になる。この内容は次回のお覧資料で私が作成し配布する。今まで敬愛短大の場所を

借りていろんなイベントを共同でやってきたが、今後できなくなる。あと賛助会員になっていただいていたので賛助会費がいただけなくなる。具体的なその解体作業、宅地整形作業は、今年の秋、冬、来年にかかるものと想定している。詳細は業者の方から自治会宛に連絡が入り次第、皆さんに告知する、当然ダンプなど大型車が出入りするため、小学校の前ということもあるので交通安全も含めて周知していく。

自治会の歌を聞いてから次に進める。

（自治会の歌を流す）

この自治会の歌は福岡県の飯塚市が作成した曲で、たまたま探していたら見つかった。最初に聞いたときは多分皆さん何これと思うかもしれないが、楽しく感じるよい取り組みだと思う。

これからは各部の説明に移る。資料の準備ありがとうございます。中身は全て拝見させていただいた。良いポイントでの指摘でまとめていただいている。これからの各部の部長に順番で報告をしていただく。何か質問があれば随時お願いしたい。私も何点か各部長に依頼したいこと、聞きたいことがある。規約に記載されている役割を示す。ここに総会で挙げられていた各部の課題について、それぞれの部が具体的にいつまでにこれを実行するという内容を一覧に記載する。来年の3月にこの表に基づいてアセスメントを行い、次年度の計画にする流れとしたい。ここで、二つの役割が規約で明確に記載されていない。例えば書記。書記は規約の中にないが役割はある。書記の役割は、これから説明していただく資料に記載されている内容をやっていただきたい。一応、正式な形で記録に残すのは役員会の議事録、班長会の議事録、総会の議事録である。毎月の役員会、班長会でやったことを会員の皆さんにフィードバックするためしっかり議事録はとってもらいたい。その議事録を私の方で確認し、私の方でまとめる。私のほうで今月の活動として資料をつくり役員会で議論したこと、班長会で議論したことコンパクトに入れて皆さんにしっかり読んでもらいたい。議事録はだんだんよくなってきているが面白くはない。面白くしていきたい。それからもう一つが幹事。幹事は、自治会の財産の状況および財務業務執行状況を監査する役割である。実際には総会の前に決算書に印鑑を押す行為がある。ただし、幹事の方には、ここに書いてあるような我々が行っていることに対する業務監査も含めて、自治会規約に則った状態で、我々が議論してそれから活動し執行されているという視点で、役員会や班長会に臨んでほしい。決算に関わることを監査する立ち位置になるので、我々がお金を動かす際に、可否を判断し役員会や班長会に挙げてほしい。

・施設部報告詳細

施設部の主な業務内容は、スライドに示すような内容をやっている。自治会の施設を管理運営、集会所を使用する団体に貸し出すためのチケット販売、コピー機の管理、集会場の清掃管理、清掃業務、備品管理を主な業務として行っている。集会所を使用する主要団体に登録をしていただく。有料貸出への団体に使用券を販売、その使用券を使用して使用してもらうように管理をしている。有償、無償問わず集会所を使用する団体は、予定表に予約枠を記入し、集会所使用届をファイルに閉じて施設を使用する。使用の際は集会所使用実績表に所定事項を記入していただく。現在は、いろんな団体が登録されている。スライドで示す表に記載されている団体名の頭文字が T のところが有償で使用されている団体、頭文字 G の団体が無償でしようされている団体となっている。次は、集会所玄関の鍵管理。鍵は前の部長さんから引き継ぎを受けられて、鍵を持っているかと思う。鍵管理については、先週、会長の方からオートロックにしたらどうかと提案があった。詳細はのちほど会長が説明する。もう一つ、コピー機の印刷機の使用容量について報告する。コピー機と印刷機はカードを用いた運用となっている。各部もしくは団体がコピー機や印刷機を使用しているが、管理がずさんな部分があるため今後改善していきたい。

（会長）

ずさんとはどういうことですか？

（施設部）

カード全てがコピー機脇に置かれているため、部もしくは団体が本来使用すべきカードを使用せずに、別の部や別の団体のカードを使用してしまう。集計すると、一番近いところにおいてあるカードが一番使われる。

（会長）

想定内で、よくある話。あの場所に置くことをやめるなどの改善が必要。あのカードを導入したのは私である。カードによる運用前は、手書きで使用数量を書いていた。手書きこそいい加減なものがないので、カード読み取り入れた。管理を厳しくし、使い勝手が悪くなるのは避けたい。あまり皆さんの利便性が下がらない程度で、かつ、うまく管理できるようなことを議論していただきたい。例えば月ごとに並び替えるなど。

（総務部）

その方法では、結局はどこかのカードが多く使われたことになる。使用枚数をトータルすれば同じではあるが、各部で集計したいのなら考える必要がある。

（会長）

各部、団体ごと、3ヶ月に1回使用数量を集計し、ここで議論したい。

（総務部）

コピー機脇にカードを全部置いている。一般の人也可以使用できる。カードは各部で管理した方がよい。

（会長）

現行の場所に置かないで持ち歩くのか？

（総務部）

持ち歩くか、部ごとに管理する。現行の場所に置くと誰もが自由に使える。カードを分ける意味もない。

（会長）

わかる意味？ 部ごとにわけないと集計できない。

（総務部）

どのカードも自由に使える状況であるため、部ごとの集計の意味をなさない。また外来者がかってに使用してもわからない状態。各部で集計したところでいい加減な数値になる。これは管理しているとは言えない。何とか保管するようなシステムを作る必要がある。仕分けする方法を施設部にて考えてほしい。

（施設部）

登録した団体にカードを持ってもらうなど、貸し出す方法が考えられる。

（会長）

利便性が下がらない方法を考えてほしい、3か月に一回、使用枚数を集計して報告してほしい。

（施設部）

集会所の清掃と備品管理。今までは班長2人で交代しながら集会所の掃除をしてきた。それを今期からは清掃業者に委託するため班長による掃除を廃止した。清掃業者と契約を行いました。石川会長に内容について了承していただき、清掃業者と契約を完了させた。5月8日から第2水曜日、第4水曜日に実施予定。業者には朝9時30分から11時30分の時間帯に掃除をやっていただく。費用は定期清掃が27万7000円。年に2から3回の大掃除が5万3000円。年間合計34万円。先ほどの予算案で金

額が大きくなったのはこの点である。

（会長）

補足する。先週、前の施設部長から話をいただいた。いままで班長が年 3 回程度、ローテーションを組んで集会所を掃除していた。30 分から 40 分程度の作業を班長が持ち回りでやっていた。

前執行部で班長の作業負担を少しでも低減させたいということで、外部委託あるいはシルバーなど色々な選択肢を考えていた中で、受けていただく方が見つかり、そこに依頼したいという説明を受けた。班長がやっていた仕事を 34 万円で外部委託する形となる。これを施設部にて管理することとした。事後承認で申し訳ないが了承いただきたい。

（施設部）

施設部内で使用している書類をここに示す。使用届など種類が多いが、パソコンやシステムはなるべく使わずに紙で簡単に誰でもできるようにしていこうというのが、施設部の流れである・

（会長）

なぜ紙で管理する流れにするのか？

（施設部）

紙で管理する方法に極力戻していく。誰でもできるようにしたい。今まではプロフェッショナルの方がエクセルに複雑なマクロを入れてやっていた。変更するためにはマクロを読む必要があり大変である。私もマクロを組む経験はあるが、施設を使用する各種団体の修正等を行うためには相当のメンテナンスが必要になる。最低限、その計算が必要な部分、それからリストを作る部分はエクセルで運用している。これから高齢化する人たちが引き継ぎやすいように紙で管理するのが望ましい。特に 1 枚しか使用しないものは紙でも十分。

（会長）

承知した。目的は 1 年間の実績をしっかりと報告できるような形で履歴が残っていること。高度なマクロを組むことも素晴らしいアイディアだと思うが その人がいなくなったら誰も使えなくなることは避けたい。

（施設部）

以上のような課題が表示しているスライドに記載している。この中に、コピー機のカードの管理を含めて、カードをどのように使用していくのか、それから、課金の有無はあるが、どのようにしたら利便性があがるのか考えたい。本来の自治会費の使用先として適切なのかといったことも含めて議論をしていきたい。

（会長）

議案書の中に記載されているとおり、施設部はこの集会所の使用料などで年間 18 万円の収入を得て集会所の維持管理に貢献している。このような貢献をさせていただいているので、コピー機の不正な使われ方は気になるところである。ただ厳しい管理にしてしまうと、使い勝手が悪くなる。基本的に我々は皆さんにサービスをしていくという立ち位置なので、そこはうまく議論してやっていきたい。

施設部にいくつか私の方からお願いがある。

まず一つめは、冒頭で鍵の話をした。基本的に物理的な鍵を持ち歩くことは利点もあれば欠点もあると感じている。この集会場を改装する際に、表玄関の鍵をオートロックにすることを検討した。集会所のセキュリティを考えた場合、常にこの集会所が閉まっている状態が一番良い。鍵を持ち歩く場合、基本的には集会所使用後に鍵をしめる。特に閉める行為を皆さん行っているが、うっかり忘れてしまう、鍵は物理的になくす、なくした鍵はどこでなくしたかは誰も覚えてないしわからない。最悪悪意のある人に渡ってしまえば、そのセキュリティが守られないリスクもある。当時オートロックのドアを入れようとした

が、鍵のシリンダーの長さの関係で、うまくできなかった。検討事項としてのお願いだが、今の玄関の扉の形で、オートロックの鍵をいれることができないのであれば、扉を変えることも検討していただきたい。費用は 70 万から 80 万を想定している。扉は常に閉まっている状態、開けるときに暗証番号を入力する。基本的には施設部の方以外はマスターキーを持たないようにして、オートロックで管理する形でできれば一番いいかと思う。費用など検討をお願いする。

（総務部）

外部団体が使う場合にはどうするのか？

（会長）

暗証番号を教える

（総務部）

教えていいのか？

（会長）

教えないとわからない。

（総務部）

番号が漏れたときどうする。

（施設部）

現在は外部団体が使うときには表にあるキーBOXの中に、鍵をいれてナンバーロックをしている。そのため暗証番号を入力して入室するオートロックの運用と実質同じである。

（総務部）

承知した。理屈は一緒であるため、物理的な鍵をつかってあけるのかだけ。ただ簡単になる。扉を閉めたときに必ずロックされるということが重要なので一案としてある。

キーBOXのようにダイヤルを回して数字をそろえる方式は、他の人が見ているかどうかすぐわかる。しかし、テンキーで入力するタイプは盗み見される。考慮していただきたい。

（施設部）

完璧にセキュリティを保つのは難しいが、趣旨に沿って考えて提案をさせてもらう。

（会長）

物理的なものを持つことは、セキュリティの問題が生じる。その兼ね合いで、私の意図は常にしまっている、しまっていることが一番重要。

それからあともう一つは、今この役員会はこの部屋を使用しているが、隣の横の細長い中会議室がある。前会長よりエアコン 1 台では夏は暑いとの話を伺っている。まだ夏ではなく暑いかわからないが、もし必要であればエアコンを一台追加設置することも皆さんの中で議論していただきたい。ただ中会議室は使用頻度が高いと思うので、費用を負担していただいている団体もいるため その点考慮して、エアコンの追加設置を考えてほしい。

中会議室に棚がないため、テーブル並べてそこに物を置いている。和室の仕切りのところに資料置く棚を作ったらどうかという話を前会長からの引き継ぎ時に伺った。棚の高さは腰ぐらいとし、仕切りを入れて何か置くような構造としたい。費用はどの程度か検討をお願いする。

（施設部）

どういう目的でどういう仕様のものがあるのかなどの情報がないと、検討できない。

（会長）

総務関係か自治会関係がわからないが、中会議室のテーブル上に荷物が置いてある。これらの荷物や会議配布資料や回覧資料の仮置きなど機密性が低いもので共有できるようなものを置きたい。A4サイ

ズのフォルダなどが入る大きさ。構造は可動式ではなくオープンな棚が良いと思う。施設部で実態をみていただき、必要なしとなればその旨の提案をお願いします。

（総務部）

補足する。今日配布した資料は、事前にコピーする資料を中会議室に持ってきていただき、テーブルの上に仮置きしている。そのため資料を置いてあるテーブルは、役目としては棚みたいな役割を持っている。部屋や机を有効的に使用できる配置が望ましいと考えている。

（会長）

時間の都合上、別の機会に議論をしたい。それからあともう一つ、施設部と防災部に関係してくる内容で防火管理者乙種の資格を取得してほしい。別に施設部だから取得するわけではなく、消防法で防火管理者の選任が必要。施設部、防災部の部長、部員でも構わないし、副部長の互選で監事でも構わない。防火管理者乙種は 1 日 5 時間の講習を受け費用は 7000 円で取得可能。講習費、交通費は自治会で支払う。班長会でもこの話をする予定。申し込みはオンラインで一般財団法人 日本防火防災協会からエントリーしていただく。ただし、私に必ず意思表示を伝えてからエントリーすること。我々で自治会のことをやれる範囲で全部やっていきたい。今の防火管理者は班長でない方が担当している。この中で防火管理者が何人もできれば、防災意識と防火意識が高まると思う。皆さん検討をお願いします。

・行事部報告詳細

行事部の主な業務は夏祭りの開催である。夏祭りは毎年人が変わり体制も変わるので負荷がたかい。そこで昨年度の役員会で夏祭り実行委員会を立ち上げることを決め、今までの経験者を交えて夏祭りの開催を進めていくこととなった。実行委員会の構成は、スライドに示す通り、実行委員長は石川会長、事務局は行事部が担当する。並列して企画運営委員会があり、こちらで夏祭りのイベントの検討、模擬店等の企画検討を行う。今までと同じように協力団体等があり、賛助会員がある。冒頭に会長から話がありました通り、賛助会員から敬愛短期大学の脱退届が出されている。皆様に配布した、さくら山王夏祭りスケジュールの資料に、これからのスケジュールを記載しており、このスケジュール感で進めていきたいと考えている。この資料から自分たちがどこで夏祭り関わってくるのかを頭に入れてほしい。

具体的には、5 月に私の方で協力団体、賛助会員への挨拶を開始する。5 月の半ばに夏祭りの案内を回覧でまわしたいと考えている。それと同時にプログラムのイベントの内容を策定することを予定している。6 月は学校への施設利用の申請、消防署、保健所などへ各種申請をする予定。同時に来賓の方々への招待状準備や、賛助金のお願いを予定している。6 月下旬に、夏祭りの抽選券ついたチラシを全戸配布する予定。7 月から各班長に関わることが多くなる。今のところ 7 月 6 日に臨時の班長会を予定しており、夏祭り前日、当日、翌日の 3 日間、各班長に協力していただく内容について説明する。その後、最終案内を全戸配布し、夏祭りの 1 週間前に盆踊りの練習会を予定している。

班長に協力していただきたいことは、夏祭り前日の 7 月 26 日にやぐら、テント、椅子、テーブルを業者から引き取り小学校の体育館に保管する。夏祭り当日にはテント 15 張りの設営をする。

8 月には反省会、9 月に会計報告実施がだいたいのスケジュールとなっている。

以上、まとめると、一番のポイントは夏祭り実行委員会の体制ができた点と夏祭りの開催日が 7 月 27 日土曜日で確定した点である。また開始時間は気温が高いため遅らせたほうが良いとの意見が班長会からでている。

（会長）

夏祭り実行委員会には何名ぐらいはいつてくれるのか？

（行事部）

まだ何人入ってくれるのかわからない。確定しているのは昨年度の行事部部長。

（会長）

資料は見せないが、班長会に日にちだけ先に伝えたほうがよい。段取りはこれから詰めていくと。来月の回覧で私のほうで 7 月 27 日に開催すると告知する。開始時間については、私と行事部で決めるわけではないが、気温が高く大変との経験があるのであれば遅らせればよいと思う。早めに開始すると間延びすることもある。実行委員会と話をしていただきたい。

行事部へ依頼事項が 2 点ある。一つ目は、今回はこのような感じの夏祭りをやりますといったわかりやすい資料、例えばキャッチフレーズ、開催日時、出し物、参加者などが記載されたチラシのような資料一枚用意してほしい。二つ目は、夏祭りの概算見積を出し予算案を作成してほしい。予算枠はとっているが、中身の内訳、例えばステージ設営費用、テントレンタル費用、もろもろの費用の概算でいいので、見概略の見積書、予算書の 2 枚を次回の役員会で報告してほしい。

（行事部）

予算の中で一番大きいのは、会場設営費用のレンタル費用が一番大きい。そこが 100 万近くいく。それが最近の物価高でどのくらい値が上がっているのかわからない。

（会長）

契約ができないので、先に見積もりを取得し、それを盛り込んだ予算案を来週出していただきたい。それで皆さんの決裁を取らないと先に進めない。まず金額を決めていただきたい。

（行事部）

業者と早めに交渉を開始するのか？

（会長）

飯で去年は 100 万だったが、昨今のインフレを加味し 120 万にするなど、あるいは規模を変えてみるとか、前任者と話をしてみる。別に予算だから見積もりがなくてもかまわない。概算の予算案で、例えば 190 万円必要であればそれで一旦みんなで承認をとりたい。金額を決めないと次に進めない。業者の契約もできない。

（行事部）

去年見積もりを取ったのが 5 月中ごろ。

（会長）

去年は去年。概算でもいい。私は 190 万円で予算組み、実際にやってみたが、蓋開けたら 280 万円かかりましたでもみんなが承認すれば構わない。ただお金のことはしっかり先に決めてから動いてもらわないと話が前後してしまうのが嫌。

（総務部）

質問。昔は引換券でジュースを配布していたが、無くなってしまってもみんなショックだっていう意見がある。何の見返りもない、何も祭りに行かない、そういう意見が多い。そこをどう考えるか、予算に入れるかどうか、それを検討していただきたい。

（行事部）

それはもう予算に計上していない。

全員にドリンク券という形で引換券を配布することは、去年の前の段階で廃止している。

そのほか、自治会の模擬店の出店については企画運営委員と調整する予定。子供神輿については去年同様、熱中症対策とかを考慮して中止予定。また、当日の昼の弁当について、(以降省略)

（会長）

詳細を話すと他の部が話せないため、スキップさせていただく。班長会でボランティア募集と伝える。

(行事部)

皆さんと一緒に楽しく満足していただけるようなイベントといたく、協力をお願いしたい。

(会長)

金額の算出は願います。

・福祉部報告詳細

福祉部の活動概要としては、今こちらのスライドに出ております通り大きく三つある。

一つ目が山王未来プロジェクトという 2021 年度に愛光さんと 共同で発足した会議があり、その運営で一番大きなイベントとしての 0 円バザーがある。今年度は第 3 回となり、今年度は 11 月 24 日山王小学校にて実施予定。昨年度は敬愛短大で実施しました。

二つ目が各種募金活動、愛の募金、赤い羽根共同主催の歳末助け合い募金である。

三つ目が生活支援情報の配布。これは昨年度から始めた内容で、買い物便利帳生活便利帳という 1 枚の資料に移動販売の情報やシルバーセンターなどの情報をまとめたチラシを作成し全戸配布する。

ゼロ円バザーの概要について、出店候補者募集のチラシをスライドで示し説明する。出店者を実施の 3 ヶ月ぐらい前に募る。その出店されたものを新たな方が気に入ったものを譲り受けて持ち帰るイベントである。出品者が第 1 回は 12 名、第 2 回は 15 名。第 2 回の来場者は第 1 回から 3 倍程度増加をしており、今年度もこれを踏まえて第 3 回を実施したい。おおよその実施日程は、昨年度の主要な実績を参考に、出店者募集が実施の 3 ヶ月前、他の部への協力依頼周知なども実施 3 か月前。2 か月前に飲食店への連絡。1 か月前に自治会への協力要請を行う。当月に実施のチラシを配布して当日に臨む。

昨年度は行事部に協力していただき、各部から 1 名のかたの協力をいただいた。昨年度の人員配置を振り返ると、会場係は縮小可能だが、駐車場係は足りないので今年度は考えたい。

福祉部の予算は、法被のクリーニング代が 3 万円。愛光さんに購入していただいている駄菓子立替金 1 万円。昨年度実績 4 万円である。

今年度の部の取り組み目標は、まずはやはり一番大きいイベントの 0 円バザーの成功を目標とする。昨年度は 30 分程度で品物がなくなる。駄菓子やキッチンカーも前半で品物がなくなる。そのため、前年度の部長からは出展者を増やしたい点をひきついでいる。第 2 回のゼロ円バザーの参加者の声として、取り組みとしては非常に面白いと思うが、実際どれぐらい重いものを持って帰ってもいいものか、持って帰る手間がかかるなどの意見や、どのような形で販売開始や終了がされるのかイベントの進行を把握できないとの意見もあり、参加や出店をためらっている方もいるのではないかと。また部の中での意見交換で、この取り組みが地域交流に本当につながっていくのかという意見もあり、物を渡すというところにそんなに渡す際に会話があるわけではない。そんなに地域交流って繋がっているのかは疑問を感じるなどの意見もあった。これらの課題を踏まえて、今年度取り組みたい内容は、詳細を知りたい出展希望者向けの情報を充実させることや、0 円バザーの他に、例えば趣味の絵画や手芸をやられている方が地域交流として参加できるギャラリーを設けるなどを考えていきたい。また、運営に関することとしては、昨年度は敬愛短大の駐車場、小学校の駐車場をかりていたが、今年度は小学校のみと駐車場の問題が厳しくなっている。腹案としては集会場の駐車場を一時的に開放してはどうかと愛光さんと詰めていきたい。

愛光さんと連携の強化ということで、愛光さんと山王未来プロジェクトの会の会則を制定している最中である。どういうメンバー構成で愛光さんや自治会が参加するのかまだ決まっていないので、本日の班長会後に石川会長と山王未来プロジェクトの方々と話を詰めていきたい。

そのほかの取り組み目標として、次年度以降 0 円バザーを順当によりスムーズにつなげていくための

仕組みの整備であるとかマニュアルの整備などにも力をいれていきたい。

（会長）

ご家庭に事情もあるので、本当に皆さん無理しないでください。できる範囲でやるっていう、それからできなければ他のメンバーに頼んでください。全部自分で抱え込まないでください。他のメンバーでできなかったら総務部長に相談すれば何とかしてくれます。

今話に挙げた愛光さんとやっている山王未来プロジェクトについては、改めて皆さんに説明していく。ポイントはこの山王地区の地域活動、要するにコミュニティ活動であること。いろんな人たちが集まる場所、顔を見せ合う場所、そのようなイベントを実施していく。そこに自治会としてどう関わっていくのかを皆さんと議論していきたい。

どうもありがとうございました

・環境部報告詳細

環境部の活動内容というのは、スライドに記載しているように年 3 回の公園の草刈り作業を実施している。前年度からの引継ぎの中で課題としてあるのが、高齢化に伴い除草作業や集会所周辺の作業が厳しい点がある。また年 3 回の草刈り作業を実施する予定だが、現行の形がいいのかどうなのかを議論していきたい。

（会長）

年 3 回の清掃をやめるのか？

（環境部）

現在、自治会は市の清掃協力団体っていう形でお金をもらっている。今年度も一応加入している。当然、加入もあれば脱退もある。市役所から通達としていただいている。年 3 回の草刈り作業をやる、やらない、というわけではなく、やり方を考えようとの趣旨である。

（会長）

ここの公園内の草刈りは市役所の扱いになるのか？

（環境部）。

曖昧である。

（会長）

承知した。私としては相談を持ち掛けるのではなく、環境部としては、こう考えているとの方針を決めていただきたい。こういうことであるので、こういう理由からこうしたいという提案してほしい。議論すればみんないろんな議論が出る。基本はまず環境部で、公園清掃など曖昧なところとかはちょっと整理していただきたい。それから、協力団体を返上する、しないも一つの選択肢である。集会所の除草については、場合によっては、集会所掃除のオプションとして草取りはできる可能性もあるので、その辺は相談していただきたい。外部にお金を払って対応してもらうことが一番簡単な方法ではあるが、一つのアイデアとしては、自治会で草刈りボランティア募集として声かけをする。それも一つ集まる場所の機会として、草刈りとか、そういう清掃とか、そういう位置づけにしていきたいと思う。いろいろな選択肢を考えていただきたい。それでみんなで議論したい。

昔は全戸一斉清掃時に、冷たい飲み物を用意して参加者に飲んでいただいていた。この集会所の中庭でも構わないので検討をお願いしたい。やらなくてもかまわない。せっかくみんなが集まるのなら滞留時間を長くしたい。みんなと話をしたいそれだけの意図である。

（総務部）

全戸一斉清掃は、住民が集まる交流の場ということで、なくして欲しくないという意見がだいぶ出て

いる。みんな多く参加してもらうために必要かと思うので考慮していただきたい。

・防犯部報告詳細

防犯部の役割は、対外窓口ということで市役所、警察、山王小学校、山防会との連携がある。そのほかパトロール表の作成。パトロールは前年度 4 回実施。今年度は 3 回を予定している。そのうち一回は山防会と行う。なおパトロール表は随時見直しを行う。防犯カメラは 11 ヶ所設置し、月 1 回のタブレットによる動作確認。年 1 回のSDカードの交換。これはアルソックへ依頼している。のぼり旗の確認はパトロール時に行う。

(会長)

防犯カメラ 11 台いつ設置完了しますか。

(防犯部)

4 台は昨年度。のこり 7 台は今年度。

(会長)

防犯部には、山王地区に防犯カメラ 11 台設置したという内容のチラシを作成して欲しい。全部そろった段階で、カメラをどこに設置したのかキャッチフレーズをつけて安心安全を守っていると、カラーで作成し欲しい。できれば会員以外にも全戸配布し、自治会入会のアピールとして使用したい。デザイン等を防犯部で揉んでいただき、役員会で最終的な構成に詰めていきたい。いろいろな意見が出てくるかもしれないが、我々の実績として皆さんに伝えていきたい。防犯カメラがあるだけで、アピールポイントは高い。チラシは次月とは言わないが、早い段階で進めていきたい。

・会計部報告詳細

会計部の主な業務は、各種の出納関係の確認である。前年度からの引継ぎで気になる点を課題として取り上げると、班長の負担軽減方法についてがあげられる。今までの通りの清算処理がよいのか、議論していきたい。また賛助会員に挨拶する際に同行し顔合わせをしたい。

そのほか自主防災の科目があいまいな点があるので確認したい。

(会長)

500 円の消防団後援会費は任意になっている。この消防団の問題は 3 年越し 4 年越しでもめた。後援会費は赤十字と同様で寄付である。そのため後援会費も任意であるべきだとの主張が強く、自治会としては、消防団に払うのは一応 40 万という固定費で決めた。それまでは、自治会の会員数に応じて金額が動いていた。60 万とか 70 万支払っていた時期もあった。使用用途を調べると飲食代が多くもめる要因の一つとなった。そのため、消防団と話をして 40 万円の固定費とすることに決めた。消防団はあくまでも任意のものだという位置づけで払わない方もいらっしゃる。それでOKとしている点理解してほしい。

(会計部)

理解した。

(会長)

会計部だけでなく皆さんに提案がある。

自治会費の回収をオンラインでやろうかと思うがどうか。クレジットカード決済、コンビニ支払い、銀行引き落とし、など現行の班長による回収から完璧に置き換えるのではなく選択肢を増やしたい。班長の負担を削減したい。ただし、手数料が発生する点考慮する必要がある。クレジットカードやコンビニ決済は 1 回の取引に 4.5%かかる。仮に 1000 世帯で 6500 円 1 回の引き落としとして 30 万円程度の費用が発生

する。会員全員が、クレジット決済になるとは思わない。多分 10%ぐらいと想定している。手数料自体はそんなに発生しないが、会員としてそういう選択肢がある点にメリットやデメリットがあるのか皆さんと議論を深めていきたい。

（総務部）

それは無理。各戸でのインターネット環境の有無、班長による回収ではないので支払いされない方も増える。一方、班長が現金を取り扱いたくないことも理解できる。

（会長）

おっしゃることはよくわかる。しかし、今はこの方法以外は駄目ではなく、この方法なら可能であるなど、横に選択肢を広げていきたい。面倒だからやらないで終わることだけは避けたいと考えている。

・防災部報告詳細

前任者との引継ぎにて、防災部には特に課題はないため、総会の議案書に書かれていた内容を挙げたい。スライドに示すように、どのようにして防災への意識を深めるのか、防災委員との連携や役割をどのようにするのか、要支援者への緊急時における対応について、などがあるので取り組んでいきたい。

今年度の防災訓練は、市役所の危機管理課に講話をお願いする予定。講和の内容はこちらから指定することも可能であり、佐倉市のハザードマップを参考として、自治会内のどの地域でどのような災害が起こる可能性が高いか話して頂く予定。

（会長）

質問。いつ頃やるのか？

（防災部）

10月を予定している。10月の班長会が10月19日に予定されており、防災訓練は、その1週間から2週間後にしたいと考えている。実施日は防災部で決めていいか？

（会長）

かまわない。この日にこのような趣旨でやると提案し、決めていただきたい。

（防災）

続いて、防災委員との連携と分担。今年度の防災訓練は防災部が単独でやって構わないと引き継いでいる。

（会長）

単独でやって構わないというニュアンスわからない。

（防災部）

前部長が防災委員会と揉めたため。

（会長）

揉めた経緯はしっかり引き継いでください。防災委員会は自治会とは独立した形で組織している。つまり独立にすることによって経年で活動していただいて、我々の防災活動に対するアドバイザーとしていろいろ協力していただきたいという位置づけで外部の組織としている。主体は、防災組織としては自治会がコアとなり、アドバイザーとして防災委員がいる形となっている。今年は我々自治会が防災訓練のプログラムを考えて開催するのか。

（防災部）

そうです

（会長）

はい、理解した。

（防災部）

防災委員は平常時には防災に関する知識の普及と啓発を行い、非常時は本部と一体で動く。平常時に疑問点など意見をいただいて、防災訓練時に何か発表したいという希望があれば協議したい。

（会長）

防災訓練は有事を想定して実施する訓練である。有事の際の活動を決めており、それを実際シミュレーションしながら、防災委員の方たちも一緒に動いていただくと理解している。

（防災）

それは、非常時の行動である。

（会長）

非常時を想定した行動が、防災訓練である。

（防災）

訓練は非常時ではない。

（会長）

非常時を想定してどう動くかというのが防災訓練。プログラムを考えて欲しい。

（防災）

要支援者の人数や状況を把握していないので、どういう支援がいいのかわからない。情報をいただいてから考えたい。

（会長）

要支援者名簿について説明する。これは前会長から引き継いで、前年度の名簿を持っている。これは市役所で毎年更新される。更新されたら、私が市役所に伺い、そこで誓約書を書いて、名簿をデジタルでいただく。いただいたら私の方で、総務部長に依頼している現時点での会員名簿のファイルをと突き合わせて、班ごとに要支援者名簿を作成する。名簿が完成したら、班ごとの名簿を私の方で用意して、班長会の席で渡す。班長は、名簿を見ていただいて、自分の班にこういう要支援者がいるということを、理解しておいてほしい。できれば、面識がなければ1回訪問して、何かあったら班長としてお手伝いしますと声をかけていただきたい。これに関しては名簿を渡す際にまた話す予定。要支援者名簿には非会員もいる。自分が住んでいるエリアの情報だと受け止めている。もし何かあったら会員、非会員に関係なく、班長が主導して動いていただくことを頭に置いていただきたい。その全体的な名簿は紙の状態で防災部長に渡し共有する。

（防災部）

昨年は何人いたか？

（会長）

ファイルを開けていないのでわからない。私が前にやっていたときは80人から90人程度であったと思うが覚えてない。非会員の方もいらっしゃるので多分去年の名簿とそんなに変わらないと思う。何かの機会に見ておく。

基本的には班長が動いていただく。要支援者が全然いない班もあれば、何人もいる班もある。その辺の濃淡を頭の中に置いていただいて、防犯部としてどういう支援体制がとれるのか、シミュレーションしていただきたい。

（防災）

班長と一緒に訪問するのか？

（会長）

そこまでしなくてもいい。班長から要請があれば一緒に行く。大事ことは、とにかく声をかける行為。

名簿を持って把握しただけで終わりにするのではなく、何かあったらお手伝いしますよと、声掛けをそれぞれの班長が地べたでやっていただくのが大事であると思う。昔、要支援者名簿を引き継いだときに、各班長宛ってという封筒があり、糊付けして閉じられていた。引継ぎ時に前任者に聞いたら、防災でなくとも何かことが起きたときに初めて開けると聞いた。それだと意味がないと判断し、私が開示することにした経緯がある。早めに皆さん理解していただくという意味でこの要支援者名簿を渡す。介護をしろとか、手伝いとかをする意味ではない。お手伝いができる体制を皆さん作り出して頂きたい。

（防災）

防災のためのまち歩きがある。1000 軒以上ある建物全部を確認することは現実的ではない。実際にそこまで多くないと思う。各班の班長から報告をしてもらい、それを確認する作業として検討したい。

（会長）

班長が一番把握されていると思う。自治会でやる範囲と市にお願いする部分がある。多くは市にお願いすることが出てくると思うので、どのような不具合があるのかを班長レベルで見えていただいて、問題あれば防災部長に都度連絡する。その上で市に要請をする手順が望ましい。

・書記報告詳細

書記の主な業務というのは先ほど会長さんから説明がありました通り、議事録の作成と、あと管理ということで書類の保管等を行うことである。過去の議事録を管理して必要に応じて参照できるような対応をする。書記の課題は前任者の方から引き継ぎを行ったが、現状で大きな課題がないと認識している。そのため書記の業務から課題として挙げられることはないか考えてみた。

業務からの課題として挙げたのが、自治会の情報管理体制はどうなっているのかという点である。既にこちらについては規程があり、問題なしと考えている。その他の課題は議事録を作成するに当たり、素早い作成と承認修正発行が重要なところと考えている。あと議事録の内容方針について、冒頭会長から説明ありました通り、よく考えていきたいと思っている。どのような意図をもってこの議事録を発行するのか、誰に宛てた内容なのか、何を伝えたいのかといったところを考えて決めていきたい。また個人名などが特定できるような 文面はなるべく使用しないと いうようなことを考えて作成していきたい。

（会長）

我々この山王自治会は個人情報保護法の対象となる団体である。我々が扱う個人情報は会員の名簿である。住所氏名、連絡先これが個人情報の扱いになる。管理責任者は私である。実務面は総務部長が全部名簿管理をしているが、何らかの形で漏えいがあり、それが犯罪に使われたということになれば、会長責任をとる。

議事録の内容をどう変えていくかについては、今回分を挙げていただいて、私はこうしたい、ああしたいなどやり取りさせていただきたい。それをそれは記録として残していただく。会長、副会長などの承認があったが廃止する。役員会、班長会の議事録を作成したら私 副会長、そして総務部長 にメールで添付して送付して欲しい。内容を確認し私がコメントをする。よければそのまま配布していく。私は、この二つの内容をまとめて別の形で書類を作成する。そういう流れでお願いしたい。録音記録は 1 年間保管してください。

・総務部報告詳細

前年度の総務部から申し送り事項をいただいている。大きくは二つある。

一つ目は、山王自治会のあるべき姿である。難しい問題であり早急に答えがでるわけではない。別のグループを立ち上げて、検討をしていく必要がある。やり方と進め方等については、会長と相談しながら進

めたい。今年度は、グループの立ち上げだけになるかもしれない。我々1人1人が5年後、10年後を見据えて、この山王自治会をどうしていこうかと考える必要がある。もしそういうグループの検討会があれば積極的に参加していただき、意見をいただいて、いい方向に持っていきたい。

二つ目は、山王自治会のホームページの活用である。Web上でも広報活動をしていただきたいとの申し送り事項がある。しかしながら、現行の総務部の体制では人数的に余力がなく、技術的に厳しい面もある。これに関してはホームページのグループを作りたい。メンバーは総務部の中からだけでなく公募をしたい。技術的に詳しい方がいれば参加をお願いしたい。

総務部の活動方針は、今日このような役員会、班長会、総会などの会議をスムーズに進めていくこと。これは皆さんの協力が必要なので、よろしくお願いしたい。

（会長）

この後、班長会でコミュニケーションツールであるサークルスクウェアの操作説明をしていただく。LINEのグループウェアのようなものである。それを使用すると、グループ内でスムーズにコミュニケーションができる。基本それを使用していきたい。しかしながら、これを使わないと駄目という意味ではない。それをツールとして使いつつ、できれば部の単位でしっかりコミュニケーションをとっていただきたい。総務部長と使い勝手についてアセスメントしていく予定。

先ほど依頼した内容をリスト化した。行事部については、概算の見積書、予算の金額を来月に必ず出すこと。実績報告で決算書が必要なる。市役所に提出することで40万4000円の支給を受けることまで決まっている。

最後に総務部からの提案については同感である。一つの部だけでシステムを構築するには難しいポイントが多い。先ほど提案した会計のオンライン化はツールがないとできない。集会所の予約についてはオンライン予約もありかと思う。それらのツールをどのように運営していくのか考える必要がある。これらは試行錯誤があること、若干の費用が発生する点を考慮したい。まずは、我々メンバー同士のコミュニケーションツールとして、オンライン化できるものはどんどんやっていきたい。また、我々は情報発信をもっとしていく必要がある。この地区に住む人たちに自治会活動をつたえるという意味ではホームページは重要である。班長会でIT関連のグループ発足を提案する予定。興味ある方はホームページ整備を含め、議論をしていきたい。

・その他質疑応答詳細

行事部をお願いしたい。来月で構わないので夏祭りに関して今後のスケジュールをいただきたい。事前の説明会の日程などを知りたい。

（行事部）

先ほど配布した資料に記載してある。案として7月6日に3時間ほど時間をいただき、臨時の班長会を開催する予定。そこで細かい段取りとして集合時間と場所、役割など詳細を説明したい。

（会長）

案であるのであれば5月に決めないとみんな多分動けないと思う。

（総務部）

5月で間に合うのか？

（会長）

班長が臨時で集まる班長会であるので問題なし。

そこで詳細を説明する。日程は仮なのか決定なのか含め総務部長と話をしていただきたい。

（総務部）

会長に質問がある。会長職を何期もできるような規約改正は考えているだろうか。今まで通りでは年度替わりで執行部が変わってしまう。今まで累積してきたいろいろな課題をクリアできない状況であり提案し議論したい。

（会長）

規約は総会でしか変えられない。自治会は 1 年であったとしても、ちゃんと回るようなシステム、誰が来てもできるシステムを作っていきたい。その選択肢の一つで、例えば会長 2 年、3 年制度などの議論が皆さんから挙げれば議論したい。

15 時 20 分になったため、今月の役員会はこれで終了とする。さきほど口頭で願いしたことは、次回の役員会で必ず報告していただきたい。そこでまた議論したい。

以上。